

山城高校での思い出

山城56回 佐藤幸恵

山城高校で過ごした三年間は、本当にあつという間に過ぎていきました。振り返ると毎朝同じ道を通って学校に行き、同じ席に座って授業を受け、休み時間には同じ友人と話しをする……というように、三年間おなじことを毎日繰り返していたような気がします。しかし、山城高校を卒業して数年が経った今、この三年間が自分にとって大変貴重であり、とても有意義な時間であったということを改めて強く感じています。

私たちの高校生活は、「校舎改築とともに歩んできた三年間」と言っても過言ではありません。山城高校に入学したときにはすでにグラウンドはなく、新校舎の工事が着々と進められていました。そして二〇〇二年一月、ついに新校舎が完成し、教室などが旧校舎から新校舎へ移転しました。当時、私たちはまだ一年生で、きれいな新校舎で勉強ができることをとても喜んでいました。しかし、その後も校舎改築のためにグラウンドや体

育館がない日々が続き、体育の授業は校外の施設をお借りして行っていました。グラウンドを使用するクラブは、放課後はほぼ毎日校外施設に出掛けて活動していました。また、多くの学校行事も校外の施設で行われ、体育祭は紫野グラウンドで、山城祭の演劇は大將軍小学校の体育館で、そして卒業式は京都テルサで行われました。このように、校舎改築は私達の学校生活にとっても大きな影響を及ぼしていました。

日々の学校生活では、部活動や委員会活動など、学年全体が何事にも積極的に取り組む姿勢を見せていました。山城祭や体育祭などの学校行事では、どのクラスも一致団結して取り組んでいました。特に、三年生のときの山城祭の演劇では、夏休みも毎日のように登校して練習や準備をし、本番を迎えました。全てのクラスが完全燃焼し、素晴らしい劇を披露することができました。

いろいろな地域からたくさんの生徒が集まるこの山城高校に入学したことで、多くの友人と知り合い、たくさんの人との出会いや広がりを持つことができました。これから、高校時代に出会ったたくさんの友人とともに、新しい時代をたくましく歩んでいきたいと思います。